

The Shimonoseki City University Public Relations

下関市立大学広報



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人

下関市立大学

Shimonoseki City University

2022年11月1日 第98号

発行：下関市立大学入試部広報課

〒751-8510 下関市大学町2-1-1

TEL.083-252-0288

FAX.083-252-8099

<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

2022年度オープンキャンパス

受験生が頑張っている姿は、
学生スタッフにとって良い刺激になりました。

国際商学科3年 伊藤 亜寿華さん
(山口県 下関商業高等学校出身)



今年も学生スタッフとして生協学生委員会が関わらせていただきました。私が1年生の時は、新型コロナウイルス感染症の流行により開催できず、代わりになる大学紹介の動画を作成しました。今回は昨年に引き続き、十分な感染症対策をしながらですが、無事に行うことができました。たくさんの未来の新生に出会うことができ、自分が受験生だったころの

ことを思い出して、とても懐かしく思いました。

オープンキャンパスでは「大学紹介」や「模擬講義」など様々な企画が実施されましたが、学生スタッフがたくさん工夫した「市大生と語ろう」や「学内ツアー」は、去年よりもさらに満足していただけただようで、うれしい限りです。

また、一般選抜前期日程での受験を考えている参加者が多く、小論文の勉強法について、学生スタッフに詳しく聞いている姿をたくさん見かけました。去年、私がアドバイスした受験生が合格したという報告をくれた時はとてもうれしかったことを思い出しました。受験生の皆さんが良い結果を出せることを願っています。



就職内定

career support

手厚いキャリア支援。オンラインでも内定を獲得した

本学の自慢! 対面での模擬面接や進路フォローできる体制を整え、学生の喜びの声が多く寄せられています

に加え、サポートしています

大きな目標を夢と向き合っている。身につける。大切。

看護学科4年 橋川 咲良 (広島県立 高等学校出身)

内定先 株式会社日本経済新聞社



インターンからは、積極的に参加などの努力を最終で確認。今もこの気持ちで頑張っています。自分の力不足についてのオ... ほぼ毎日、天候... をして、必死... た。でも一... に来た、ナ... 丈夫よ... を認... も安... けら... き

る... かの... に敏感



高校生メッセージ

家... 気が機に、人が生きる上での不... 仕事に就きたいと考えるようにな... 病気や事故は誰の身にも起こ... す。苦しむ人から苦痛を取り除... 商品を広めたいと思っています... 動中は、周囲の友人が会... れたり、面接対策に付き合... 、心強かったです。そし... センターの職員の方... になり、言葉にできな... ます。



医療機器の業界で / 苦しみを 取り除ける商品を 広めていきたい。

公共マネジメン 田中 滄巳 (徳島県立)



生へメッセージ

1年の社会イ... 支え... や...

アルバイトや部活での経験を通して、社... の人柄や社風などを軸に就活を行いま... するソフトテニス部の先輩から、正直... を伝えるのが良いというアドバイスを... をもって面接にも挑むことができ... 業の保証事業は必ずしも... 社会にとって必要... いわば日本の...



4年間、下関市立大学で過ごしてみて、まじめな学生が多いと実感しています。ただ、どの進学先であろうと「自分で決断する」ということが大切だと思います。まずは、自分の目で見て雰囲気を感じに来てみてください!



Internship インターンシップ

本学では、学生のキャリア教育の一環として、インターンシップによる就業体験学習を行っています。
withコロナ時代に対応し、オンライン形式で業務に取り組むなど、
さまざまな企業で有意義なインターンシップを経験した学生からのメッセージを紹介します！

北九州市立大学のキャリアセンターでインターンシップを行い、ポスターの作成、オープンキャンパスに参加した高校生の対応など大学広報の仕事を体験させていただきました。大学職員として高校生に北九州市立大学の魅力を伝え、実際に大学のSNSにも記事を投稿しました。最大の収穫は、多くの社会人の方と接する中で自分の足りない部分や伸ばすべき部分が明確になったことです。今回、大学職員の仕事を体験できたのは大変有意義なことでした。



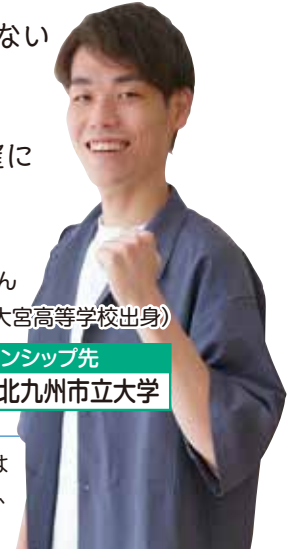
自分の足りない部分や伸ばすべき部分が明確になりました。

国際商学科3年

長山 倅大さん

(宮崎県立宮崎大宮高等学校出身)

インターンシップ先
公立大学法人北九州市立大学



高校生へメッセージ

やりたいことややりたいものは時とともに変化するので、高校生の時点で見つからなくても焦る必要はありません。私自身、キャリアサポートが充実している下関市立大学へ進学して、多くの経験を積み、自分の将来について深く考えることができたので、入学してよかったと感じています。

将来は常に消費者の視点に立ち、誰よりも社会に貢献できる人になりたい。



「100年に一度の大変革の時代」に入っている自動車業界に興味を持っていたことと、5日間という長期にわたって営業職を経験できることに魅力を感じインターンシップに参加しました。残念ながら対面ではなくオンラインの形式ではあったものの、営業社員の方の考え方を学ぶことができ、とても勉強になりました。まだまだとは思いますが、発言する際に自分の頭の中をきちんと整理しながら話せるようになってきたことを実感しています。将来は常に消費者の視点に立ち、誰よりも社会に貢献できる人になりたいです。

経済学科3年

三木 拓人さん

(奈良県 西大和学園高等学校出身)

インターンシップ先
株式会社デンソーソリューション

高校生へメッセージ

今回のインターンシップを通じて、自分に足りないところに気づくことができました。下関市立大学では、自分次第でいろいろな経験を積むことができます。なりたい自分の将来像を思い描きながら、私たちと一緒に成長しましょう。ここには、みなさんをサポートしてくれる環境が整っています。応援しています。

新たな視点から地域貢献について考えを深めたいと思い、民間と行政の間に位置する一般社団法人下関市公営施設管理公社を希望しました。現場で常にお客様のことを考えて仕事をされる皆さんの姿を見て、「一人一人のお客様に対して向き合う」とはどういうことか、やっと自分の心に落とし込むことができたと思います。

以前は地域貢献であれば公務員と勝手に決めつけていましたが、実際にはほとんどすべての仕事が誰かの役に立っているため、今は働くことそのものが地域貢献であると気づくことができました。



働くことそのものが地域貢献であると気づけました。

公共マネジメント学科3年

濱田 怜亜さん

(高知県立高知追手前高等学校出身)

インターンシップ先
一般社団法人下関市公営施設管理公社



高校生へメッセージ

大学では、何をするかしないかを選ぶのは自由です。様々な体験をするほど見える景色も出来ることも、どんどん変わっていきます。高校とはまた違った面白さや楽しさがあります。合格がゴールではなく、入学した先を見据えて、最後まで頑張ってください！

海外派遣留学

Study abroad

派遣先大学で修得した単位を、帰国後本学の卒業単位として認定される「海外派遣留学」。語学力を高めるだけでなく、それぞれの国の文化や考え方に触れ、自分自身を大きく成長させるチャンスでもあります。今回は2名の学生に体験談を語っていただきました！



韓国 釜山 東義大学校

留学する時に
心に留めて欲しいこと

国際商学科3年
佐伯 琉羽さん
(広島市立基町高等学校出身)

留学したいと考えている人の心に留めておいて欲しいことの一つは、どんな留学にできるかは自分次第だということです。留学すると語学力が飛躍的に伸び、劇的に自分が変われるイメージを持っている人が多いかもしれませんが、留学は自分を成長させるチャンスを与えられているにすぎず、与えられた機会をどれくらい活かせるかは自分次第です。



私は2021年8月から1年間東義大学校（韓国 釜山広域市）に留学しました。留学期間中は、韓国人の友達を作るために可能な限り韓国人学生や現地の方々

と会話するように心掛け語学力が向上するように努めました。また、自分を変えるために目標と向上心を忘れずに、とにかく挑戦し続けました。その結果、たくさんの縁に恵まれ、全く異なる価値観を持つ多国籍な留学生とも交流が深まり、多様な価値観に触れることができました。

人生の局面では思いうような結果にならないこともあるかもしれませんが、今ある環境をどう活かすか、行動次第で人生は変わることを学べた留学でした。



2022年2月から7月までグリフィス大学（オーストラリア）に派遣留学をしていました。留学先では、当たり前ですがすべての物事を英語で行う必要があります。レストランで料理を注文するのも緊張したのを覚えています。また授業では、ビジネス系の授業を専攻したため、扱う内容が非常に難しく最初はついていくのもやっとという状態が続きました。しかし、授業でのグループワークやクラブ

活動、イベントへの参加を通して、多くの友人ができ、彼らと会話する中で英語の練習だけでなく、お互いの文化をシェアするきっかけにもなりました。オーストラリアでの生活は非常に充実していたので、半年間は瞬間に過ぎていき、友人達にさようならを言うのは寂しかったです。

留学先では、何事にも受け身に



オーストラリア クイーンズランド グリフィス大学

積極的に行動することを
心がけた結果
満足のいく留学生活に。

経済学科3年
村上 広大さん
(広島県立福山明王台高等学校出身)

ならず、積極的に行動することを心がけていました。その結果が、満足のいく留学生活につながったのだと感じ、残りの大学生生活も充実するように果敢に挑戦をしていこうと思います。



International exchange 国際交流

学内で国際交流の経験を積み、日本にしながら国際理解を深めることもできます。英語、韓国語、中国語などを使ってネイティブスピーカーと会話をしながら、それぞれの国の文化を知る絶好のチャンスです！

「日本にしながら世界を知ろう！ 英語で聴くNew Zealandのお話」に参加して

国際商学科1年 井上 樹さん
(鳥取県立鳥取東高等学校出身)

留学やワーキングホリデーなどの海外での生活に興味がある私は、日本にしながら少しでもネイティブスピーカーの英語に触れ、外国の文化や生活について知ることが出来ればと思い、このプログラムに参加しました。



今回は、ニュージーランド人の先生が母国についてパワーポイントを用いながら英語で多くのことを語っていただきました。ニュージーランドへの理解を深め英語に慣れ

ることができる良い機会でした。ニュージーランドは日本と同じ島国ですが、日本と比べて周りの国へのアクセスに時間がかかることに驚きました。また、顔全体に派手なタトゥーが入っている先住民族の写真が印象的でした。



先生のお話を聴いて、異文化への理解が深まっただけでなく、自分が今まで学んできた英語表現や語彙はこんな風に使うのだと勉強になり、今後の勉強の励みになりました。今後もこのようなプログラムがあれば是非参加してみたいですし、いつかは自分が母国のことを外国の方へ英語で伝えることができるようになりたいと思いました。

国際交流しながら韓国についてもっと知ろう

国際商学科3年 鄭 娟琇さん
(韓国・大邱広域市出身)



5月末から始まった「韓国語で遊ぼう！知ろう！さあ、行こう！」というプログラムはとても良い経験になりました。最初は参加者18人の役に立てるかという心配でいっぱいでしたが、予め準備したプランによつて来てくれ、また参加学生たちの助けがあったからこそ、楽しい取組みになりました。韓国文化に関心

がある学生、外国人と交流したい学生など参加動機はそれぞれ違いましたが、最後の授業では皆が韓国にもっと興味を持つようになってくれたようで嬉しかったです。

韓国で流行している簡単なゲームを一緒にすることが多かったのですが、これらのゲームをプログラムに参加していない友達と遊ぶ時に「韓国語交流プログラムで知ったゲームだよ」と紹介しながら、そこでも小さな国際交流の輪を広げて欲しいです。

韓国人留学生との国際交流体験をしたい学生がいたら、ぜひこのプログラムに参加してみませんか？これからもみんなと一緒に楽しく国際交流できるように頑張ります。



環境みらい館施設見学の日

国際商学科1年 ホ ダック ホアン ニャンさん
(ベトナム・ホーチミン市出身)

秋学期開始前に、留学生チューターと日本にきたばかりの留学生と一緒に環境みらい館施設見学に行きました。

施設ではごみを回収する流れの動画を見て下関市のごみ分別を学びました。参加者全員で実際にごみを分別する体験もしまし



た。間違えることもありましたが、間違いから正しい分別方法を学べるようになりました。その後、作業員たちがコンベヤの上のごみの中から不適物を取り除く過程を観察しました。時にはガラス

や包丁が入っていて作業員がけがをすることがあるそうです。みんながきちんとごみを分別できたら作業量を減らせます。その後、



牛乳パックの木材パルプで紙を漉く体験をしました。私は3回目にやっときれいな形のハガキが作れました。最後にリサイクル商品(食器や洋服など)のリサイクル販売所を見学しました。

今回の見学を通してごみの処理や資源の大切さやごみの分別方法を学びました。これからはリサイクルの必要性を理解し、ごみの減量に取り組みます。

私のゼミ

My seminar

発表の機会が多いため、
課題解決力や
コミュニケーション力が
磨かれます!

村田ゼミ

国際商学科3年 峰 翔太郎さん
(長崎県立長崎商業高等学校出身)



私が所属する村田ゼミは、経営管理論を学ぶゼミです。ゼミでは、テキストの報告と3・4年生合同でのグループワークを中心に活動しています。テキストの報告では、指定された教材を読み、内容を報告していくことで、内容を理解する力や聞き手が分かるように伝える力を身につけられるように取り組んでいます。前期はモチベーションを、そして、後期は経営戦略を学習します。また、3・4年生合同のプレゼンテーション大会では、3・4年生混合のチームで

課題に対する解決案を考え報告することで、グループでの課題解決力を養っています。ほかにも企業報告や卒業論文の報告会など、一人一人が発表する機会が多く設けられています。

村田教授は、内容に関する解説はもちろん、私たちの発表の仕方に関して丁寧にご指導をさせていただきます。ゼミで培ったコミュニケーション力を今後の就職活動にも活かしていけるように、ゼミ活動に精力的に取り組んでいきたいと思っています。

トピックス

Topics

春学期卒業式・学位記授与式を 挙行了いたしました。

9月30日(金)、本学本館Ⅱ棟2階学長室において、2022年度春学期卒業証書・学位記授与式を挙行し、経済学科4名、国際商学科4名、公共マネジメント学科5名の計13名が本学を巣立っていきました。

学長は告辞の中で、アルベール・カミュの『シーシュポスの神話』やスペンサー・ジョンソンの『チーズはどこへ消えた?』などを引用しながら、人生で困難に直面した時の心構えについて話されました。変化や挑戦を恐れるのではなく、遅く未来を切り開いていくことが大切であり、そして一步一步、自分自身で自分の人生を歩んで欲しいと熱いエールを贈られました。

下関市立大学は、全国各地あるいは世界で活躍する皆さんを心から応援しています。



For the future **未来のために**

下関市立大学は 総合大学に生まれ変わります。

世界が急速に変化し将来の予測が困難な現代、下関市立大学は社会の期待とニーズに応えるべく大きな変革にチャレンジします。西日本最大規模の経済学部を有する単科大学から総合大学へ。この挑戦は、本学のみならず下関市全体の発展にも寄与する試みと言えるでしょう。

第一段階は、これからの都市発展のカギを握る、IoT・グリーンニューディール・医療インフラと密接な関係を持つデータサイエンス分野への参入です。2024年4月に「データサイエンス学部(仮称・設置構想中)」を開設する予定で、そして第二段階として2025年4月には「看護学部(仮称・設置構想中)」を開設する予定です。両学部とも下関市が進めるスマートシティー推進事業との親和性が高く、卒業後も地域の発展に貢献する人材を育成する学部です。



新データサイエンス学部棟 完成予想図 2024年3月竣工予定

本学3つの理念「教育と研究の一体性に基づく新たな知の創造」、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」、「地域社会の知的センターとして地域に根ざした教育と研究」の下、我々が率先して不透明な未来の前線に立ち、変化を恐れず“科学”の力で突き進んでいきたいと思ひます。



ハン チャンワン
学長 韓 昌完

《設置学部》

2023年度

経済学部
定員 450名

2024年度

経済学部
定員 370名

データサイエンス学部(仮称・設置構想中)
定員 80名

2025年度

経済学部
定員 370名

データサイエンス学部(仮称・設置構想中)
定員 80名

看護学部(仮称・設置構想中)

新任教員ごあいさつ



新学部設置準備室
中嶋 恵美子先生

新学部設置準備室の特命教授として、8月1日に着任いたしました。

変化する社会の中で、将来を見据えた看護学教育を展開する看護学部(仮称)の開設に向け専心する所存です。

看護学は、人々の「健康の保持増進」、「疾病予防」、「疾病からの早期回復」、「苦痛の緩和」を支援する学問です。本学で看護学を学ぶ学生の皆様が、地域の人々の『健康で幸せな人生』に貢献できる人材に成長する過程に寄り添い、学生の皆様とともに「看護」を思考し、語り合うことを楽しみたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



新学部設置準備室
河本 乃里先生

6月より講師として着任し、2025年度看護学部(仮称)設置に向けて準備を行っています。

看護職には、科学的根拠に基づき対象にとって最適な看護を実践する能力や優れた観察力・判断力・課題解決力など多くの看護実践能力が求められます。本学で看護学を学ぶ皆様が豊かな人間性を培いながら、看護実践能力を高めていくことのできる学びの場をつくっていきなさいたいと思ひます。そして、本学での学びを基盤に地域や社会に貢献し、活躍できる看護職へと成長できるようサポートしていきなさいたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

■ 2022年度 春季・夏季大会成績

| サークル | | |
|-------------------|----------------------------------------|-----------------|
| 準硬式野球部 | 令和4年度中国地区大学準硬式野球春季大会 I 部リーグ戦 | 2位 |
| | 令和4年度中国地区大学準硬式野球春季大会 I 部リーグ戦 個人賞 深田 仁 | 敢闘賞・ベストナイン |
| | 令和4年度中国地区大学準硬式野球春季大会 I 部リーグ戦 個人賞 松田 弘貴 | 最多勝投手 |
| | 令和4年度中国地区大学準硬式野球春季大会 I 部リーグ戦 個人賞 関本 大将 | ベストナイン・打率十傑 |
| | 令和4年度中国地区大学準硬式野球春季大会 I 部リーグ戦 個人賞 遠藤 優太 | ベストナイン・打率十傑 |
| | 令和4年度中国地区大学準硬式野球春季大会 I 部リーグ戦 個人賞 中満 航大 | 打率十傑 |
| | 清瀬杯第54回全日本大学選抜準硬式野球大会 | 出場 |
| 軟式野球部 | 令和4年度西日本地区学生軟式野球春季 I 部リーグ戦 | I 部残留 |
| 女子バレーボール部 | 令和4年度山口県大学高専学生バレーボールリーグ戦夏季大会 | 3位 |
| 男子バスケットボール部 | 令和4年度山口県学生バスケットボール春季大会 | 3位 |
| 女子バスケットボール部 | 令和4年度山口県学生バスケットボール春季大会 | 出場 |
| ソフトテニス部 | 令和4年度第44回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会 三原 心音 | ベスト16 |
| | 令和4年度第44回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会 本藤 有日子 | ベスト16 |
| | 令和4年度第44回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会 岡村 愛海 | ベスト16 |
| | 令和4年度第44回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会 藤吉 彩楓 | ベスト16 |
| バドミントン部 | 令和4年度山口県春季バドミントン大会 男子団体 | ベスト4 |
| 少林寺拳法部 | 第50回山口県少林寺拳法大会 大石 尚吾、安田 優平 | 組演武 大学生男子の部 最優秀 |
| | 第57回少林寺拳法中四国学生大会 大石 尚吾、安田 優平 | 組演武 男子茶帯の部 2位 |
| 個人 | | |
| 金城 海葵(ラグビーフットボール) | 第77回国民体育大会中国ブロック大会山口県選手団競技団体派遣 | |

【全国大会出場】

準硬式野球部

清瀬杯第54回全日本大学選抜準硬式野球大会



■ 今年度の入試スケジュール

【学校推薦型選抜・特別選抜(社会人・帰国子女)・第3年次編入学】

| | | |
|------|----------------|--------------------------|
| 試験日 | 2022年11月19日(土) | |
| 出願期間 | 推薦・特別 | 2022年11月1日(火)～11月8日(火) |
| | 編入学 | 2022年10月13日(木)～10月21日(金) |

【外国人留学生】

| | |
|------|--------------------------|
| 出願期間 | 2022年12月15日(木)～12月23日(金) |
|------|--------------------------|

【一般選抜(前期日程)】

| | |
|------|-----------------------|
| 試験日 | 2023年2月25日(土) |
| 出願期間 | 2023年1月23日(月)～2月3日(金) |

【一般選抜(公立大学中期日程)】

| | |
|------|-----------------------|
| 試験日 | 2023年3月8日(水) |
| 出願期間 | 2023年1月23日(月)～2月3日(金) |

●お知らせ

すべての選抜においてインターネット出願を導入しています。

■ 行事記録(2022年7月～10月)

- 7月 6日 市民大学公開講座
- 7日 高校教員対象入試説明会
(地域推薦対象校のみ)
- 11日 日本にいながら世界を知ろう
- 25日 春学期定期試験(～8月9日)
- 8月 6・7日 オープンキャンパス
- 9月 3日 大学院入試(一次募集)
- 30日 春学期卒業式 / 秋学期授業開始
- 10月 20日 学内合同業界研究会(～25日)
- 23日 下関くじらスクール

下関市立大学附属リカレント教育センター

来年度5コースで講義スタート予定!

(2023年1月HP,市報公開・1月末募集開始予定)

- I 『インクルーシブ教育』専門家養成コース
- II 『パーソナルマネジメント』専門家養成コース
- III 『子ども才能マネジメント』専門家養成コース
- IV 『旅館マネジメント』専門家養成コース
- V 『くじらと捕鯨の地域活性化』専門家養成コース **New!**

『くじらと捕鯨の地域活性化』専門家養成コース **新設!**

下関の地で、「くじら」を学び、地域に活かす。

来年度、下関ならではの文化「くじら」と「捕鯨」をテーマに、地域に根差した学びを实践できるコースが新設されます。
学生・社会人問わず、歴史や水産経済学・観光まで、くじらにまつわる幅広い知識と理解を深め、くじらで地域活性化を担う専門家に、あなたもなってみませんか?

詳細は、下関市立大学附属リカレント教育センターのホームページをご参照下さい。

< URL > <https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/recurrent/>

